

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	独語第一		
英文授業科目名	Elementary German I		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目ⅠⅠ		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	齋藤 智志		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
ドイツおよびドイツ語圏の国々の文化や歴史に触れつつ、ドイツ語の基礎的な文法や表現の習得を目指します。独語第二が終了する一年後には、簡単な文章の読み書きができるようになっているはずです。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：大岩信太郎著『純・初級ドイツ文法（新正書法版）』（同学社） 辞書：辞書は当然必要です。始めて学ぶ言語においては、辞書の引き方も重要な学習事項です。収録語数が5万語以上の独和辞典を選んで下さい。

【授業内容とその進め方】

扱う文法事項は以下の通りです。1単元を2回程度で終わらせます。

1. 発音と数字
2. 動詞の現在人称変化、主文の語順、並列接続詞
3. 定冠詞と名詞の格変化、定冠詞類
4. 不規則変化動詞、副文の語順と従属接続詞
5. 不定冠詞と名詞の格変化、人称代名詞の格変化、不定冠詞類
6. 前置詞、名詞の複数形

文法の解説を終えた単元の問題演習を翌週までの宿題とします。したがって、上記2以降は、ほぼ毎週（量はそれほど多くはならないはずですが）宿題が出ると考えてください。

また、ドイツおよびドイツ語圏の国々の文化や歴史に関して、学生諸君に発表をしてもらいます。人数が多ければ班を編制し、一月に一人（ないし一班）ぐらいのペースで発表してもらおう予定です。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

通年科目ですので、成績評価は独語第二の成績と合わせて出しますから、詳しくは独語第二のこの欄を見て下さい。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けません。質問等は電子メールでも受け付けます。アドレスを知りたい方は、教室で尋ねて下さい。

【学生へのメッセージ】

大学は「自ら」学ぶ場所です。諸君はその「権利」を得たのです。ジャンルを問わず貪欲に知識を吸収してください。

【その他】